

第 18 回 丹沢大山自然再生委員会（平成 29 年度総会） 議事録

日時： 平成 29 年 6 月 30 日（金） 13:30～16:00
場所： 神奈川県自治会館 3 階会議室

○事務局（足立自然再生企画課長）

それでは、定刻となりましたので第 18 回丹沢大山自然再生委員会を開会いたします。開会に先立ちまして、事務局を務めます自然環境保全センター、自然再生企画課 足立より何点かご説明させていただきます。まずお手元の自然再生委員会名簿ですが、代表の方の変更または人事異動に伴う委員の変更につきまして事前に確認させていただき、できる限り修正しておりますが、直っていないものがありましたら恐れ入りますが、後ほど事務局までご連絡いただきますようお願いいたします。次に本日の委員会ですが、ご連絡いただけなかった方を含みまして、三十余名の委員がご出席される予定です。まだ何名かの方はお見えになっていませんが、東京情報大学 原委員からは事前に遅れるとのご連絡を頂いております。続きまして本日の資料の一部は事前に郵送させて頂いております。机上配布させていただきました次第裏面に資料一覧が付いておりますので、ご確認ください。それから勝山委員から特別展の案内とチケットをいただきましたので、そちらも机上配布させていただきました。本日資料をお持ちでない方、不足の資料等ございましたら、お近くの事務局員へお申し付けいただければと思います。

では、第 18 回丹沢大山自然再生委員会を開催させていただきます。ここからの議事進行につきましては、羽山委員長にお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

○羽山委員長

皆様こんにちは。本日はお忙しいところ、多数参集いただきまして誠にありがとうございます。昨年度、皆様方のご協力によりまして、10 月に再生委員会の活動報告会として丹沢大山自然再生シンポジウムを開催いたしました。大変盛況で、この場を借りてお礼を申し上げたいと思います。その後 11 月に自然再生の進め方について課題を出していただき、再生委員会のホームページに今後の取組方針という形で掲載させていただきました。今後は各部会等の活動を通じて、引き続き検討を進めていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

本日の総会は、次第に従いまして、例年通り昨年度の事業実績・決算をご報告した上で、今年度につきまして事業計画、予算案をお諮りしたいと思いますので、ご審議よろしくをお願いいたします。それから今年度は役員改選の年でもありますので、それについてもお諮りしたいと思います。その後報告事項としてここに挙げたものを順次進めていきたいと思いますが、これ以降意見交換等時間を割きたいと思いますので、議事の進行についてご協力をお願いいたします。

特に第 3 期の丹沢大山自然再生計画は今年度がスタートになります。これ以降この再生委員会がどのように関わっていくのか忌憚のないご意見を頂けたらと思います。

では早速ですが、お手元の次第に従いまして事務局の方から説明をお願いいたします。

【議案1】 平成28年度事業実績・決算について

- ・平成28年度事業実績報告
- ・企業等からの寄付報告
- ・平成28年度決算及び監査報告

<事務局より資料1、資料2にもとづき説明>

○羽山委員長

小林監事から決算、監査の結果報告をお願いいたします。

○小林監事（監査報告）

平成29年6月15日、平成28年度丹沢大山自然再生委員会収支決算の監査を行いましたところ、適正に処理されていることを確認しましたので報告します。

○羽山委員長

今のご報告に付きまして、どなたかご質問、ご意見ありましたらお願いいたします。

<質疑応答>

○西ヶ谷委員

調査事業費は予算500,000円に対して支出が64,000円ということですが、これは何か事情があったのでしょうか。

○事務局（田中）

調査事業費につきましては、年度当初100,000円を上限とする調査・研究助成金5本分ということで、予算額500,000円を計上させていただきました。平成28年度はこのうち2件の申請がありまして、その2件の調査・研究事業に対して助成をさせていただいた形になっております。助成の対象となる費目は限られておりまして、物品費、交通費、保険料、事務費等が対象となりますが、このうち申請のあった2件に対しては交通費のみの支給になりましたので、予算額に対して支出額が少ない状況となっております。

○西ヶ谷委員

これは私も含めて、会員の普及啓発が少ないという思いもありますが、一般の科目は八割九割の決算を打ってらっしゃるので妥当だとは思いますが、繰越金は第一四半期に必要な分を使ってもまだ毎年900,000円くらいあるので、対象の掘り起こしも含めて、その辺りを事務局にもう少し工夫してもらいたいと思います。

○羽山委員長

これは一昨年度からスタートした事業でまだまだ認知度が低いということもご指摘の通りだと思

いますし、予算の使い勝手をもう少し良くしないと、という意見も出ておりますので、今後調査部会でこの辺りを詰めていただきたいと思います。

○山田委員

今の問題も含めて、広報というのがかなり重要な問題になっていると思います。ホームページがメインの広報になっていると思いますが、昨年度はなぜかほぼ全ての月でアクセス数が1年前より減っています。ただ9、10月だけが突出して良いのですが、特に更新が増えているわけでもないのに、何か理由があるのでしょうか。あるいは他がどんどん下がってしまっているということに対してはいかがでしょうか。

○事務局（田中）

9、10月にアクセス数が多くなっている件につきましては、昨年10月に開催いたしました活動報告会に合わせて、資料の広報事業（2）に記載しておりますインターネット広告のグーグルアドワーズを約2ヶ月間実施いたしました。この広告をご覧になって委員会のホームページにアクセスして下さる方が増えたので、この2ヶ月間にアクセスが突出したということだと思われまます。その他の月々のアクセス数が昨年度を下回ってしまったという件に関しましては、更新回数が全体的に平成27年度よりも少なくなってしまったということがあります。平成27年度は月平均20件ほどホームページの更新を行っていましたが、28年度につきましては資料に記載しておりますように、月平均13件程度となってしまいました。ホームページの更新は委員会で共催・後援させていただいているイベント等活動情報の掲載をしておりますが、掲載につきましては各団体のホームページから引用させていただいていることもあり、各団体のホームページでのイベント情報の掲載状況が影響してきますので、更新件数のばらつきが出てしまっています。

○羽山委員長

再生委員会に限らず、丹沢関係はどこも成果を出しているのに宣伝が下手だとあちこちで言われますので、この辺りももう少し努力をしたいと思います。

他になければ、議案1「平成28年度事業実績・決算」について、ご承認をお願いいたします。

ご異議がなければ拍手をお願いいたします。

○一同 拍手

○羽山委員長

本件は承認されました。寄付等のご協力をいただきました、ウエイズグループ様、サントリーホールディングス株式会社様、イベント来場者と個人の皆様、この場をお借りいたしましてお礼申し上げます。ありがとうございました。

【議案2】 役員の改選について

○羽山委員長

現状の役員としましては、本日配布しております委員名簿の役員の列に印がついているとおりです。資料 11 の委員会設置要綱に記載されておりますとおり、本年度は2年に一度の役員改選の年にあたります。役員の選任は設置要綱第 10 条第 2 項の規定により委員の互選となっておりますので、ご提案があればよろしくお願いたします。

○木平委員

現役員の皆様に引き続きお願いしたいと思います。昨年度自然再生の取組みの課題について整理し、これからやっという状況です。現役員の方には2期務めていただいて、大変ご苦労だとは思いますが、もう1期続けてお願いしてはいかがかと思ひます。

○羽山委員長

ありがとうございます。ただいま木平委員からご提案がありましたが、他にご意見ありますでしょうか。他にご意見がないようでしたら、現役員で継続させていただきたいと思ひます。ご承認いただけるようでしたら拍手をお願いいたします。

○一同 拍手

○羽山委員長

本件は承認されました。ありがとうございます。

【議案 3】 平成 29 年度事業計画・予算（案）について

- ・平成 29 年度事業計画（案）
- ・平成 29 年度収支予算（案）

<事務局より資料 3、資料 4、資料 5 にもとづき説明>

○羽山委員長

ありがとうございました。平成 29 年度事業計画案・予算案につきまして何かご質問ありますでしょうか。

○山田委員

こういう会議ではしばしばありますが、資料 4 の予算額と前年度予算額ですが、すでに決算が出ているので予算額ではなく、前年度の決算額と比較することによって、ここは過剰だったのではないとか、先ほどのように広告をちょっと打てばあれだけ上がるなら増やしてみようとか、そういう議論が出来ると思ひます。予算に対して予算で議論すると何も進歩しないので、気をつけていただきたい

と思います。

○羽山委員長

ありがとうございます。他にいかがでしょうか。今ご指摘いただきました箇所については次年度修正していきたいと思います。それでは議案3 平成 29 年度事業計画案及び予算案についてご承認いただけるようでしたら拍手をお願いいたします。

○一同 拍手

○羽山委員長

それでは本件はご承認いただいたということにさせていただきます。

続きまして報告事項に移ります。まず専門部会から報告と提案について、3つの部会から順に進めていきたいと思います。まず事業計画・評価専門部会の勝山部会長からお願いいたします。

【報告事項1】専門部会の報告・提案について

ア 事業計画・評価専門部会

<勝山部会長より資料6にもとづき部会の活動内容を報告>

○羽山委員長

ありがとうございました。ただいまの勝山部会長のご報告につきまして、ご質問・ご意見ありましたらお願いいたします。基本的には昨年11月に再生委員会として掲げた5つの課題について、今年度は一つ一つ関係者と議論したり、情報を広めていく様な活動をしたいというようなご報告だったと思います。

では続きまして県民事業専門部会の久保部会長から報告をお願いいたします。

イ 県民事業専門部会

<久保部会長より資料7-1～7-4にもとづき部会の活動内容を報告>

○羽山委員長

ありがとうございました。久保部会長からの報告について、何かご意見・ご質問等ありましたらお

願います。

<質疑応答>特になし。

○羽山委員長

ご意見がなければ、引き続き調査部会から報告をお願いします。調査部会は部会の報告に併せまして、助成した調査の結果報告も合わせてお願いいたします。質疑につきましては、各調査内容の報告の後でまとめて行いたいと思いますので、よろしくをお願いいたします。

ウ 調査専門部会

・平成 28 年度調査部会実施調査報告

<糸長部会長より資料 8 にもとづき部会全般の活動内容を報告>

<平成 28 年度 実施調査項目について、杉浦氏、糸長部会長（藤澤氏病欠のため）から結果報告>

○糸長部会長

質問・ご意見ありますでしょうか。なければ、今年度予定しているテーマとしまして、人畜共生で山の上にまわってきて、今後何らかの影響を及ぼす蚊やダニ、吸血性の昆虫についてちょっと調べてみてはどうかと思っております。10 年前のテーマでは、ダニを 1 種類やっただけだと思います。あとはヒルの問題もありますが、今回はヒルではなく吸血系の昆虫について、獣医の方に協力していただいて、丹沢の実態をやってもらえたら良いかと思っております。あとは防災系で何らかの研究が出来れば面白いかと思っております。そうはいつでも予算額 500,000 円で 1 件あたりの上限は 100,000 円ですから、支出は旅費くらいで、それも近いのであまりお金がかからず、また、分析はそれぞれボランティアでやっているという状況です。これをどう改善するかということもありますが、広く調査の募集をかけたいと思っておりますので、ぜひ協力をお願いしたいと思います。

○羽山委員長

ありがとうございました。3つの部会の報告をしていただきましたが、全体をとおしてご意見・ご質問等ありましたらお願いいたします。

○西ヶ谷委員

森林インストラクターの会の総会にお邪魔しましたが、インストラクターの会のホームページはずっと一人の方が中心になって手作りで作っていらっしゃいますが、賞を受賞されています。一番広告媒体としてアクセスが多いのはホームページですし、丹沢を知らない、この委員会があることを知らない人達にいかにか知ってもらおうかということが大事だと思うので、インストラクターの会の方に少しお話していただきたいと思うのですが。

○久保部会長

私も詳しくは分かりませんが、ホームページは林野庁の長官賞をいただいたかと思います。一番始めは県の公社の依頼を受けてホームページを作りました。そのうちやっていくうちに慣れてきたので、自分たちで工夫をしながらやってきました。それが昔のことから現在の状況までホームページを見れば拾えるようになっていて、入ると色々な所へ飛びながら全体の歴史や自分たちがどう参加していけばいいかという情報が得られるようになっていきます。それも外部の人でなく自分たちの中で配慮していたということで評価されたと思います。非常にランクの高い評価を得て、改めて自分たちの会を見直しました。やはり手作りで自分たちのことを紹介していくというのは実際のことがよくわかって良いんだなということあらためて認識しました。

○羽山委員長

よろしいでしょうか。他になければ専門部会の活動報告につきましては以上にしたいと思います。次に報告事項2、丹沢大山自然再生計画について自然環境保全センターから報告をお願いします。

【報告事項2】次期丹沢大山自然再生計画について

<事務局より参考資料3、概要パンフレットにもとづき説明>

○羽山委員長

ありがとうございました。今年度からスタートしました第3期計画ということで、非常に見やすいパンフレットを作ってくださいました。ご意見、ご質問等ありましたら、お願いいたします。よろしければ次に進めたいと思います。

次に丹沢大山自然再生活動報告会ですが、これは本委員会の毎年恒例で行っています。これについては、委員長から昨年度の報告会についてのご紹介と今年度についての委員長提案をしたいと思います。

【報告事項3】丹沢大山自然再生活動報告会について

<羽山委員長より資料9、当日配布資料（委員長提案）にもとづき説明>

○羽山委員長

昨年度の活動報告会ですが、概要と内容は先ほどご報告したものになります。基本的なコンセプト

としまして、再生委員会が設立して 10 年という節目の中で、再生委員会がどのような取組みを今までしてきたのかということになるべく沢山紹介したいという思いで、5 団体からの活動報告あるいはパネルディスカッションという形で行いました。併せて募金活動も行いまして、実績については 3 に記載したとおりです。来場者の方々から沢山のアンケートをいただきましたが、いくつかまとめたものを記してあります。やはりこちらの思いとは裏腹に内容が幅広すぎるのではないかと、もっと絞ってやった方がよいのではないかとのご意見をいただきました。確かにそういった見方もあるかと思えます。従いまして今年度はこの反省をふまえて、一本にしていこうということをご提案したいと思えます。昨年度から開催時間は午後のみといたしました。これについて来場者の方々で長いと感じた方が 5% しかいらっしやらないということだったので、適度な時間設定だったかと受け止めた次第です。裏面にいきまして、普及啓発検討部会からご意見をいただきました。記載されている内容のとおりですが、特に先程来出ておりますとおり、宣伝が十分ではないということで、今年度につきましてはなるべく早い段階で色々な媒体を使って広めていきたいと考えております。昨年度の報告については以上です。

これらの実績と反省をふまえて、幹事会を中心に検討して参りました。その結果を今日ご提案して御了解いただければこの案を進めたいと思っております。忌憚のないご意見をいただければ、と思えます。当日配付資料としまして平成 29 年度活動報告会について、主旨としましては先程来ご意見を頂いておりますが、組織というのは組織が出来た段階から老化が始まるのだそうで、やはり世代交代というのが大きな課題ですし、キーワードになると思えます。我々のやってきた活動や思いをどのようにして次世代に伝えていくのかという辺りに焦点を絞りまして、今回は議論していきたいと思えます。テーマとしては『丹沢大山における未来の自然再生を担う人材育成について』ですが、若干堅いかとも思えますので必要に応じてもう少しキャッチーな打ち出し方をした方がいかもしれません。開催方法は昨年度同様、実行委員会形式で開催したいと考えております。時期については、予算の関係と会場の空き状況を勘案しまして、今回は日本大学の糸長先生にお世話になりまして、藤沢の六会にあります生物自然科学部の本館大講堂をお借りすることにしたいと思います。開催時期は 10 月 15 日の午後です。内容は、まず私から挨拶をした後、基調講演に長崎県対馬市で自然再生に取り組まれている市職員の前田さんという方にご登壇いただきたいと考えています。対馬市はヤマネコで有名な島ですが、様々な開発や人口減少、シカの爆発的な増加という、ある意味丹沢に似たところもありまして、地域外から新たな人材を受け入れ、地域の自然を活かして島の若者達や島外の若者達も含めて人を育て、次世代の活動に繋げていくという活動で注目されている方です。ですからその取組について、丹沢とは違う視点からお話を伺いたいと思っております。その基調講演を受けて、丹沢での事例報告ということで 5 つの分野についてそれぞれご報告いただき、最後に糸長先生に進行役を務めていただいてパネル討論をしたいと考えております。会場も大変立派な所をお借りしました。若干懸念なのは 400 人入る会場が閑散とすると困りますので、少なくとも 200 人以上は入れたいと考えております。こういった形で進めることにつきましてご意見をいただきたいと思えます。いかがでしょうか。

○秋山委員

環境教育活動について事例を報告して欲しいということで、事前に私にもお電話いただきました。博物館としての環境教育というのは低地の身近な所での事例が多いので、丹沢で直接取り組んでい

るものは中々ないという話をしたところ、それでもいいですよと言われましたが、全体のテーマを改めて伺って、私よりも市内の麻布大学で相模原市内の中山間地域の過疎集落に入って小学校を中心に農作業や森林整備を展開しているグループがあるのですが、そういったところに事例発表をしてもらった方が良くと思います。交渉は私が引き受けますので、そちらを再提案させていただきたいと思います。

○糸長部会長

全体を企画する上で、会場も日大ということで考えた結果ですが、例えば対馬の場合は年に1回、対馬フォーラムという形で高校生への普及も含めて展示会をやり、全国から大学生も来て合理化しています。次の若手教育をどうするかということで、ユネスコの関係教育も市と連携してやっているの、丹沢に関しても出来れば今回来て下さっている自治体の方々に声かけをしていただいて、学校で理科系のクラブに入っている高校生や子供達が来られるものになりたいと思っています。その上で事例報告は、委員長は丹沢にと言いましたが、丹沢以外でも構わないと私は思っていて、広く環境教育と人材育成を捉えてはどうかと思っています。今日報告していただいた杉浦先生も丹沢に特化している訳ではなく、平地での環境教育をやってらっしゃるので、それでもいいですよというお話をしました。この再生委員会は学識系とNPO系と基礎自治体があるので、基礎自治体としての関係者が一人欲しいと思っています。

そういう中で秋山さんが市立博物館として地域の自然と人材育成に関わっているということで少しお話をいただけるとありがたいと思います。秋山さんがおっしゃる過疎集落の大学の取組みも面白いと思いますが、今回はそういう視点ではなく、丹沢の麓で苦勞する学芸員としてもお話していただけるとありがたいです。

○秋山委員

そういう主旨でしたら、それに沿ってやりたいと思います。

○羽山委員長

他にいかがでしょうか。立派な会場なので、前回の様にパネル展示もできるかと。

○糸長部会長

会場前のホールに40枚～50枚パネルが用意できると思います。

○羽山委員長

再生委員会の各構成団体の方々のパネル展示も、是非お願いしたいと思います。他にいかがですか。

○糸長部会長

先ほどのグーグルアドワーズをぜひ早めに設定していただけたらありがたいです。

○石井委員

申込みは自由ですか。参加自由ですか。

○羽山委員長

参加自由です。よろしいでしょうか。特にご意見がなければこの形で進めたいと思います。ここに書いたように実行委員会形式にしたいと思いますので、我こそはという方は是非加わっていただいて、その上でより良い物にしていきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

【その他】

○羽山委員長

その他につきまして、事務局から何かありますか。

○事務局（足立自然再生企画課長）

3点ほどご説明させていただきたい件がございます。まず1点目は委員会関係の保存文書の取扱いについてご説明させていただきます。

<事務局より資料10にもとづき説明>

○羽山委員長

ありがとうございます。この委員会では怪文書はないと思いますが、然るべきルールに従って保存していきたいと思いますが。

○鈴木委員

今日配布された資料は、一つずつページ毎にこれは10年とか、これは1年になるのか、まとめて何年になるのか、具体的に教えて下さい。それから前もって資料を送っていただいている、2015年丹沢大山自然再生活動報告会報告書は何年か教えて下さい。もう一点、事務文書はこれで良いと思いますが、以前の総合調査の調査データや報告のようなものは、このカテゴリになるのかならないのか。

○事務局（田中）

本日の会議資料はページ毎に分けるということではなく、この会議資料ひとまとめとして、分類表2ページ目の「3年保存とするもの」の一番上に「1 会議及び講習会に関するもの」という箇所がありますので、基本的に会議関係の文書につきましてはひとまとめにして3年保存ということで保存させていただきたいと思います。また活動報告会の報告書ですが、今確認した限りではモデル規程の分類に該当する項目がないようですので、このモデル規程をそのまま準用するのではなく、一部委員会の実状を勘案してモデル規程を修正させていただき、該当がない物につきましても保存期間を定めさせていただければと思います。総合調査の文書につきましては、基本的に永年保存ということで考えております。

○山田委員

総合調査に関するものは永年とおっしゃいましたが、調査に関するものは3年で、調査研究に関する重要な物は5年ということですが、山みたいに関時間がかるものがどのように変化していくかを見るために調査しているので、これも基本的に永年にするべきではないですか。

○事務局（田中）

ご指摘のとおりこの委員会で実施しました調査研究関係の報告書等につきましては基本的に永年保存ということで対応させていただければと思います。保存方法につきまして、事務局があります自然環境保全センターの研究部門で保存している研究資料と同じように、厳重に保存させていただきたいと思います。

○渡邊委員

関連して、前回の調査の時に小学高学年、中学生を対象に副読本を作りました。あの中にも非常に貴重な写真や記事がありました。一例として調査報告書にも載っていましたが、子鹿が不嗜好性植物の下に親に置き去りにされている青木先生のお撮りになった写真と、鈴木先生がお撮りになった堂平の改修前と改修後の対比が素晴らしい写真が載っている、ああいった関係の報告書は永久保存にしても悪くないと思うのですが。

○事務局（山根研究企画部長）

印刷物につきましては、図書として私どもの研究機関にもありますし、県の公刊物としてきちんと保存されています。写真につきましてはそれぞれオリジナルのものは個別に管理しておりますし、印刷物としてはきちんと保管しております。先ほどの研究データ等や報告書等は保全センターの研究部門の図書のスペースで管理するという形を考えております。資料保存会からお預かりしたのものに関してはご案内の保全センターの図書室で管理して、この基準に沿って3年5年で廃棄することはありませんのでご安心下さい。

○羽山委員長

他にいかがでしょうか。ではこのような形で文書の規程について取り扱いたいと思いますが、御了解いただくということでよろしいでしょうか。ありがとうございます。

○自然環境保全センター 西口研究連携課長

お持問をいただきまして恐縮です。保全センター研究連携課から研修会のご案内をさせていただきます。お配りした資料の最後にございますチラシをご覧ください。7月20日木曜日14時から厚木の商工会議所におきまして、石川東京農工大学名誉教授をお迎えして、「東丹沢堂平における土壌侵食実態および土壌保全対策の効果について」を演目としましてご講演をいただくことになりました。

石川名誉教授が丹沢大山の総合調査以降、昨年まで13年にわたり東丹沢堂平で土壌侵食の実態調査及び土壌保全対策効果の検証調査を継続されまして、シカ影響による土壌侵食メカニズムの解明や、対策手法の提案、対策効果の検証評価等多くの研究成果をあげて来られました。これにより、平成19年度から始められた水源環境保全再生の実行5カ年計画や、丹沢大山の自然再生計画における土壌保

全対策の事業化に加え、その後の事業推進にも大きく貢献されました。

再生委員会のメンバーの皆様にも、是非ご参加頂ければと存じます。どうぞよろしく願いいたします。

○羽山委員長

ありがとうございました。ではその他の3点目、第27回幹事会について事務局からお願いします。

<事務局より説明>

○羽山委員長

必ずしも委員にということではなくて、構成団体のメンバーの方でもいいので、どなたかもしご協力いただける方がいらっしゃいましたらよろしく願いいたします。何かその他でありますでしょうか。ありがとうございます。それではこれを持ちまして、本日の議事を終了させていただき、第18回再生委員会を閉会させていただきたいと思います。本日はありがとうございました。

以上